

VM活動の推進による経営革新

第1ステージ

VM活動のスローガン
5S徹底！人は変身！会社は革新！

VM活動とは V:Visual M:Management = 『目に見える経営』 経営の見える化改善活動
 全部門において目で見える管理が出来るしくみを構築し、ムダ、異常、問題点及び管理・改善サイクルなどが一目で解る状態にし生産・管理・事務システムの維持管理・改善活動を展開することにより経営革新を実現する活動です。
 不況に負けない経営体質強化の決め手は、VM(見える化経営)活動を展開し、総合力を発揮していくことにあります。
 トップ自ら、また製造・間接を問わず、全員で実践していくことが重要です。前向きな活動展開を進めて行きましょう。

VM活動の目的

	製造部門	間接部門
直接的な目的	在庫の削減 リードタイムの短縮 工数低減・生産性向上 生産進捗管理 遅れ減少 不良の減少	書類の削減 リードタイムの短縮 工数低減・生産性向上 業務進捗管理 遅れ減少 不良・ミスの減少
	原価低減と利益・キャッシュフローの増大	
終局目的	管理監督者の管理改善能力の向上 人と組織と風土の活性化 企業の経営体質の革新	

5S活動の目的

最大の目的	直接的な効果	GOAL
社員の自主性改善	企業イメージの向上 安全の確保 ムダの徹底的な排除 スペース活用 能率と生産性の向上 面積生産性の向上	人材育成 ↓ 管理向上 ↓
良好なチームワークづくり	経費節減と原価低減 L/T短縮・納期確保	絶え間なく改善を推進する組織
リーダーシップの養成	製品・業務品質の向上 故障の撲滅 在庫の削減 組織の活性化	

VM活動の進め方

- 5S活動の推進
 - 生産現場の5S
 - 管理間接部門の5S
 - 職場、管理・監督者の役割・使命の明確化
 - 方針・目標管理、日常管理の見える化
 - 管理システムの改善
目で見える管理の推進
工程管理・納期管理
品質管理・現品管理
 - 事務現場の5S
ファイリングシステム
情報の共有化
業務の見える化
業務改革の推進
- 人が育ち、改善が進み、目標達成、企業体質が向上する

5S活動の進め方

- 5S活動準備
 - 5S教育
 - 整理の推進
 - 整理基準の作成と不要品処理
 - 整頓の推進
 - 置き場・置き方・表示
表示の無いものは要らないもの
 - 清掃の実施
 - 清掃ルール・ピカピカ運動
 - 5Sの定着化
 - 継続活動・評価コンクール
- 見える化の決め手は5S活動
VMに欠かせない重要な活動

VM活動スケジュール

実施事項	2010年												2011年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1. 生産現場のVM活動																								
(1) 生産システムの基本的要件																								
① 5S活動の推進	○オリエンテーション(仮)12月1日																							
事前準備・教育	◆キックオフ(1月10日)																							
整理の推進	◇整理報告会																							
整頓の推進	◇整頓報告会																							
清掃の推進	○																							
清潔の推進																								
躰の推進																								
② VM(目で見える管理)の推進	管理 物的システム改善と運動して実施																							
(2) 管理システムの改善																								
① 調査、分析、改善計画の立案																								
② 改善の実施																								
(3) 物的システムの改善																								
② 改善の実施																								
段取作業方法																								